

令和5年度下半期

村山市水道事業業務状況説明書

令和5年10月1日 から

令和6年3月31日 まで

山形県村山市

目 次

1. 事業の概要	3
2. 経理の状況	4
3. 令和6年度の予算の概要及び事業の経営方針	6

1. 事業の概要

(1) 工事施行状況

安定供給のために、東笛田・馬場・俵町・中町・中央・岩野地区の配水管更新工事、楯岡高区配水場の電気計装設備更新工事を行いました。

また、定住促進のために、S*mileタウン俵町や次世代まちづくり開発促進事業による鶴ヶ町・二日町・北楯・南新町地区の宅地開発に伴って配水管新設工事を行いました。

(2) 業務状況

令和5年度末の給水普及状況は、給水戸数7,650戸、給水人口21,528人で、普及率は行政区域内人口の99.9%です。

また、令和5年度下半期における配水量は1,281,646^{m³}、有収水量は1,031,476^{m³}で、有収率は80.5%です。

(令和6年3月31日現在)

区 分	令和5年度 下半期	令和4年度 下半期	対前年度	
			増 減	増減率
1. 行政区域内人口(a)	21,554 人	22,089 人	△ 535 人	△ 2.4 %
2. 給水人口(b)	21,528 人	22,063 人	△ 535 人	△ 2.4 %
3. 給水戸数	7,650 戸	7,719 戸	△ 69 戸	△ 0.9 %
4. 給水栓数	8,578 栓	8,633 栓	△ 55 栓	△ 0.6 %
5. 普及率(b/a)	99.9 %	99.9 %	△ 0.0 %	-
6. 下半期配水量(c)	1,281,646 ^{m³}	1,367,848 ^{m³}	△ 86,202 ^{m³}	△ 6.3 %
7. 1日平均配水量	7,004 ^{m³}	7,516 ^{m³}	△ 512 ^{m³}	△ 6.8 %
8. 下半期有収水量(d)	1,031,476 ^{m³}	1,075,167 ^{m³}	△ 43,691 ^{m³}	△ 4.1 %
9. 1日平均有収水量	5,636 ^{m³}	5,908 ^{m³}	△ 271 ^{m³}	△ 4.6 %
10. 下半期有収率(d/c)	80.5 %	78.6 %	1.9 %	- %

2. 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	収入額		
		上半期	下半期	計
第1款 事業収益	635,423,000	293,552,275	327,398,742	620,951,017
第1項 営業収益	572,895,000	291,288,891	270,054,332	561,343,223
第2項 営業外収益	60,815,000	1,207,239	57,204,767	58,412,006
第3項 特別利益	1,713,000	1,056,145	139,643	1,195,788

支 出

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	執行額		
		上半期	下半期	計
第1款 事業費用	629,232,000	138,611,677	463,672,406	602,284,083
第1項 営業費用	603,430,084	134,133,124	450,179,977	584,313,101
第2項 営業外費用	24,592,000	4,288,637	13,492,429	17,781,066
第3項 特別損失	209,916	189,916	0	189,916
第4項 予備費	1,000,000	0	0	0

(2) 資本的收入及び支出

収 入

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	収入額		
		上半期	下半期	計
第1款 資本的收入	117,325,000	0	18,153,946	18,153,946
第1項 工事負担金	106,880,000	0	7,729,600	7,729,600
第2項 固定資産売却代金	20,000	0	0	0
第3項 他会計出資金	10,425,000	0	10,424,346	10,424,346

支 出

(消費税込 単位：円)

区 分	予算現額	執行額		
		上半期	下半期	計
第1款 資本の支出	404,871,000	56,348,023	199,405,013	255,753,036
第1項 建設改良費	326,047,000	17,145,988	159,783,570	176,929,558
第2項 企業債償還金	78,824,000	39,202,035	39,621,443	78,823,478

3. 令和6年度の予算の概要及び事業の経営方針

(1) 予算の概要

(イ) 業務の予定量

区分	予定量
1. 給水栓数	8,601 栓
2. 年間総配水量	2,641 千 m ³
3. 一日平均配水量	7,236 m ³
4. 主な建設改良事業	緊急時浄水施設整備事業、 老朽管更新事業、 送水管移設事業、 宅地造成関連配水管整備事業

(ロ) 収益的収入及び支出

収 入

(消費税込 単位：千円)

区分	予定額
第1款 事業収益	625,065
第1項 営業収益	562,941
第2項 営業外収益	60,397
第3項 特別利益	1,727

支 出

(消費税込 単位：千円)

区分	予定額
第1款 事業費用	624,756
第1項 営業費用	602,989
第2項 営業外費用	20,647
第3項 特別損失	120
第4項 予備費	1,000

(ハ) 資本的収入及び支出

収 入

(消費税込 単位：千円)

区分	予定額
第1款 資本的収入	13,993
第1項 工事負担金	3,500
第2項 固定資産売却代金	20
第3項 他会計出資金	10,473

支 出

(消費税込 単位：千円)

区分	予定額
第1款 資本的支出	757,113
第1項 建設改良費	692,326
第2項 企業債償還金	64,787

(2) 事業の経営方針

人口減少に伴う水需要の低下により給水収益が減少傾向にある中、「安全・安心でおいしい水を安定的に供給する」ための予算を編成する。

令和4年度決算は10,354千円の純利益を計上したが、令和5年度においては給水収益の減少、漏水修繕費の増加、電気料金の高騰などにより純利益の圧縮が見込まれる。

新年度においては目的達成のため、漏水調査等の不明水対策により有収率を向上させ、計画的な老朽管や電気設備の更新、宅地造成に伴う配水管布設などの投資的事業を行っていく必要がある。

さらに、自然災害による断水対策として、幕井水源を利用した緊急時浄水施設を整備し、自己水源を確保することで安定供給の強化を図っていく。